

みんなで **話そう** みらいの未来

第2回

# 市民ワークショップ

## 実施報告書

# 目次

1. 実施概要	2
<hr/>	
2. 当日の流れ	5
<hr/>	
3. ワークで聴取した主な意見	15
<hr/>	
4. 参加者アンケート	24
<hr/>	

# 1. 実施概要

# 実施概要

## 実施概要

### 日時場所

- ▶ 日時：令和4年7月31日（日）  
 午前の部：9:30～12:30  
 午後の部：14:00～17:00

- ▶ 場所：みらい平市民センター

### 参加者

- ▶ 30名（午前の部：13名、午後の部：17名）

性別	人数	割合
男性	22	73.3%
女性	8	26.7%
合計	30	100.0%

地区	人数	割合
旧伊奈	5	16.7%
旧谷和原	9	30.0%
みらい平	5	16.7%
その他	11	36.7%
合計	30	100.0%

年齢	人数	割合
15～19歳	10	33.3%
20～29歳	3	10.0%
30～39歳	3	10.0%
40～49歳	3	10.0%
50～59歳	4	13.3%
60～69歳	5	16.7%
70歳以上	2	6.7%
合計	30	100.0%

### 目的活用方法

- ▶ 第1回ワークショップで聴取した「つくばみらい市の課題」に対して、自助・共助の視点から「市民としてできること」を検討する。また、「市民としてできること」を推進する支援やサポートを公助の視点から検討する。

< 反映箇所 >

- 各施策の「取組方針」の検討
- 各施策の「市民等の役割」の検討

## プログラム概要

### 概要説明

- つくばみらい市の紹介
- 総合計画の説明
- まちの将来像とまちづくりの基本的な方向性
- 本日のワークショップの位置づけ 等

### 第1回 ワークショップの 振り返り

- 「子育て・教育」、「健康・福祉」、「産業・文化」、「生活環境・都市基盤」の4つのグループに分かれて、第1回ワークショップの振り返りを実施
- ワークで深掘する「特に大きな課題」を選定

### 「市民としてできること」 (自助・共助)

- 選定した「特に大きな課題」を解決するために、「市民としてできること」を、自助・共助の視点で検討

### 「必要な支援・サポート」 (公助)

- 「市民としてできること」を推進するために「必要な支援やサポート」を、公助の視点で検討

### 全体共有 (発表)

- 各グループで話し合った結果を会場全体で共有

# 実施概要

## ワークショップの構成と活用方法

< 第1回 >  
令和3年11月7日（日）

### テーマ①

#### つくばみらい市の問題・課題は？

- つくばみらい市にはどのような問題・課題があるのか意見を出し合おう！

### テーマ②

#### 各分野の問題・課題の優先順位は？

- 各分野の問題・課題のうち重要度が高い課題を整理してみよう！

### < 結果の活用 >

次期総合計画の各施策の課題整理や具体的な取組の検討材料

< 第2回 >  
令和4年7月31日（日）

### テーマ①

#### 課題解決に向けて「市民としてできること」は？

- 第1回ワークショップで聴取した「つくばみらい市の課題」の解決に向けて市民としてできることについて意見を出し合おう！（自助・共助\*1）

### テーマ②

#### 「市民としてできること」を推進するのに必要なサポートや支援は？

- 「市民としてできること」に取り組み、推進するために必要なサポートや支援について意見を出し合おう！（公助\*2）

### < 結果の活用 >

次期総合計画の具体的な取組や役割分担の検討材料

\*1 ご自身やご家族、近所の方々など身近な方と協力して取り組めること

\*2 行政の取組のこと

## 2. 当日の流れ

# 当日の流れ

## 1. 総合計画の概要及びつくばみらい市の紹介

- まず、市が目指すべき将来像「しあわせと笑顔あふれる みどりがつなぐ『みらい』都市」の説明や将来像の実現に向けた市の最上位計画である総合計画の概要説明を行いました。
- 次に、総合計画の構成の説明を行いました。総合計画は、「基本構想－基本計画－実施計画」の3層から構成されており、本日のワークショップで聴取したご意見やお考えは「基本計画」の策定に活用されます。
- 最後に、今後、市として検討する必要がある課題や問題の説明を行いました。少子高齢化の進展、新型コロナウイルス感染症の感染拡大、デジタル化の進展など社会環境が大きく変化する中で、行政が取り組むべき課題も多様化しています。これらの課題の解決のためには、公助による支援だけでなく、自助・共助の視点で市民・団体・企業等と市が協力することが大切です。



(当日資料より一部抜粋)

# 当日の流れ

## 2. ワーク：第1回ワークショップで出た意見の振り返り

- 第2回市民ワークショップは、令和3年11月に実施した第1回市民ワークショップと同様に、「子育て・教育、健康・福祉、産業・文化、生活環境・都市基盤」のテーマごとにグループに分かれて意見交換を行いました。
- グループワークの冒頭では、第1回ワークショップで意見交換した「つくばみらい市の課題」の振り返りを行いました。
- また、本日のワークショップで自助・共助・公助の取組を検討する「特に大きな課題」を各グループで1つずつ選定しました。

第1回ワークショップの振り返りの様子

### 各グループのテーマ

#### 子育て・教育

子育て、保育園、  
小中学校、青少年 など

#### 健康・福祉

健康づくり、障がい者福祉、高齢者福祉、  
地域医療、感染症対策 など

#### 産業・文化

商工業、商店（買い物）、雇用、  
観光、市の文化 など

#### 生活環境・都市基盤

消防・防災、河川、道路、  
公共交通、環境保全 など





# 当日の流れ

## 2. ワーク：（参考）第1回ワークショップで出た意見一覧

### <子育て・教育>

項目	第1回ワークショップで出た具体的な問題・課題・意見
学習支援	外国にルーツを持つ子ども達の日本語教育支援が不足している 学習ボランティアが不足している
交流	子育て世代と地域住民が交流する機会が欲しい 子どもたちが農業を体験できる機会が欲しい 子どもと大人が交流する機会が少ない 子どもが楽しめるイベントが少ない 地域・家庭・学校が連携できていない 登下校の子どもの見守りが少ない
子育て支援	子育て中の方の孤立を支援してほしい 一時預かりが使いにくい 保育園数が少ない、入園しづらい 子育て世代に十分に情報が届いていない
子育てのための物品購入	学習用具（文房具など）を購入できる商店が少ない 書店がない 図書館の蔵書数が少ない
小・中・高等学校	在籍する学校に希望の部活がない 常勤のスクールソーシャルワーカーがいない 地区によって学校規模が違う 学区分けを見直してほしい みらい平地区に中学校が無い 学校の美化がなされていない
障がい児支援	重心児・医療的ケア児受け入れ環境が整っていない 障がい児に関する子育て支援が充実していない おやこ・まるまるサポートセンターの支援が必要
通学路の安全性の確保	安全な通学路が整備されていない 夜道が暗い

項目	第1回ワークショップで出た具体的な問題・課題・意見
子どもの遊び場の整備	遊び場が少ない
	公園に十分な遊具が整備されていない
	四季を感じられる公園が少ない プールが無い
その他	学校以外で学習ができる施設を整備してほしい
	児童クラブの利用時間を19時以降に延長してほしい
	オーガニック食材を活用した給食を提供してほしい
	小中一貫校を設置してほしい 高校卒業後の就業先が少ない

（一部抜粋）

※本日のワークで自助・共助・公助の取組を検討しやすい課題を着色しています。

# 当日の流れ

## 2. ワーク：（参考）第1回ワークショップで出た意見一覧

### <健康・福祉>

項目	第1回ワークショップで出た具体的な問題・課題・意見
医療機関	救急でかかれる病院がない 総合病院がない
高齢者向け施設	運動施設が少ない 高齢者の人が安全で楽しく過ごせるような施設 老健施設の空きがない 老人ホームが少ない 高齢になった時の交通手段 介護施設への移動手段がない 高齢者の買い物支援
コミュニティ	介護施設の横のつながりがない 障がいのある方と地域のつながりが希薄 高齢者の交流の場が少ない 高齢の方と子育て世代がつながるコミュニティ
健康診断	気軽に健康相談ができる窓口の設置 健康診断後のフォローが少ない 申請のデジタル化
健康づくり	からだを動かす公園がない 健康増進のイベントがほしい 健康ランド（温泉施設）が欲しい スポーツジムやトレーニング施設が少ない 統合運動公園をもっと有効に活用する プールがない

項目	第1回ワークショップで出た具体的な問題・課題・意見
高齢者	高齢者の孤立化の対策を行う 災害時の高齢者の見守りの体制が必要 ひとり暮らしの高齢者への支援を拡充する
障がい児・障がい者支援	重心児・重心医ケア児・動ける医ケア児 障がい児に関する福祉サービス、情報共有支援体制の構築 小児から成人まですぐに相談できる医療ネットワークを構築してほしい 学生への啓発・交流を行う 障がい者の福祉サービスが不足している 身体的に不自由な人が生活しやすいまちづくり
その他	民生委員のなりてが少ない コミュニティバスの増便 妊婦タクシーを整備してほしい 世代間の交流の機会がない

（一部抜粋）

※本日のワークで自助・共助・公助の取組を検討しやすい課題を着色しています。

# 当日の流れ

## 2. ワーク：（参考）第1回ワークショップで出た意見一覧

### <産業・文化>

項目	第1回ワークショップで出た具体的な問題・課題・意見
企業誘致	企業誘致に注力するべきである
	企業を誘致できる地域が限られている
農業	市の中心産業である農業を活用する
	農業支援が不足している
	農業の担い手が不足している
飲食店・商店・観光	市内での経済循環が少ない
観光	観光資源の有効利用ができていない
	市内観光ツアーを行う
	観光地が少ない
	観光ルートを作り、ボランティアを配置する
	市内での祭りが少ない
	ワークステーションの活用（再一般公開）
	古民家を活用する
企業誘致	駅前にカフェやコンビニが欲しい
	大きな商店街がない
	カフェや喫茶店を増やしてほしい
	子供服を取り扱う商店が欲しい
	書店が欲しい
	大型ショッピングモールがない
施設	多文化共生センターの設立
	イベントを開催できるような場所が欲しい
	娯楽施設を増やしてほしい
	ゴルフ場の活用
	宿泊施設がない
	体育館などのスポーツ施設が欲しい
	多様なスキルを活かせる場が欲しい
廃校の跡地利用	

項目	第1回ワークショップで出た具体的な問題・課題・意見
シティプロモーション	郷土史をPRする
	文化に関する情報発信が少ない
	文化の授業を行う
その他	地元産物をもっとアピールし、地産地消を推進する
	タクシーやバスが少ない
	車いすの子が気軽に入れる店舗を増やす
	市民同士の情報交流促進みらい情報ネットの整備
	市内購買力が流出している
市内の就業先が少ない	

（一部抜粋）

※本日のワークで自助・共助・公助の取組を検討しやすい課題を着色しています。

# 当日の流れ

## 2. ワーク：（参考）第1回ワークショップで出た意見一覧

### <生活環境・都市基盤>

項目	第1回ワークショップで出た具体的な問題・課題・意見
インフラ	TXの運賃
	TXの東京駅延長
	下水道整備
持続可能な社会づくり	旧集落の過疎化
	次世代の転入を増やす
	多文化共生社会
生活環境整備	高齢者のゴミ出し補助が望まれる
	空き家が多い
	みらい平地区に自治会がとても少ない
	地域防災が難しい
	ゴミステーションが汚い
	ゼロカーボンシティの具体策がない
道路・歩道	カーブミラーやガードレールの整備
	音の出る信号機が少ない
	街灯を増やしてほしい
	交通安全の支障とならない街路樹管理
	道路に歩道が整備されていないところがある
	ガタガタの歩道をきれいに
	田んぼ道の歩道が狭い
	道路で狭いところが多い
	草が生えていて車で走りにくいところがある
用水路の草	
都市開発	スマートインター近隣の都市開発
防犯防災	防災・雨水対策
	自助・共助の促進
	小貝川の堤防（スーパー堤防）

項目	第1回ワークショップで出た具体的な問題・課題・意見
公共交通	コミュニティバスの偏り
	交通機関の充実
	バスの通勤時間の運行
	バスの本数が少ない
ゴミ	生ゴミを分解するようなゴミ処理施設が市にほしい
	粗大ごみの不法投棄
防災	防災・災害時の非常用電源の確保
	車イス医療的ケアの子が避難できる場所
その他	空き家・空き地対策
	公園がない
	計画道路がなかなか進まない

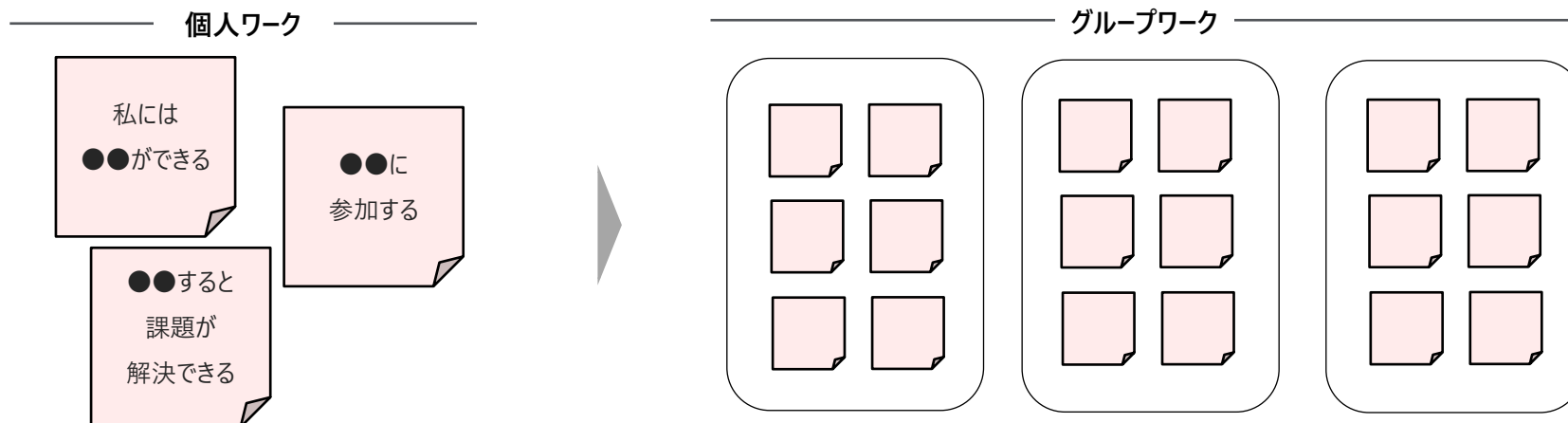
（一部抜粋）

※本日のワークで自助・共助・公助の取組を検討しやすい課題を着色しています。

# 当日の流れ

## 2. ワーク：課題の解決に向け「市民としてできること」（自助・共助）

- 各グループで選定した「特に大きな課題」に対して、自助・共助の視点から「市民としてできること」を検討しました。
- 個人ワークで「市民としてできること」を検討し、グループで整理しました。



ワークの様子

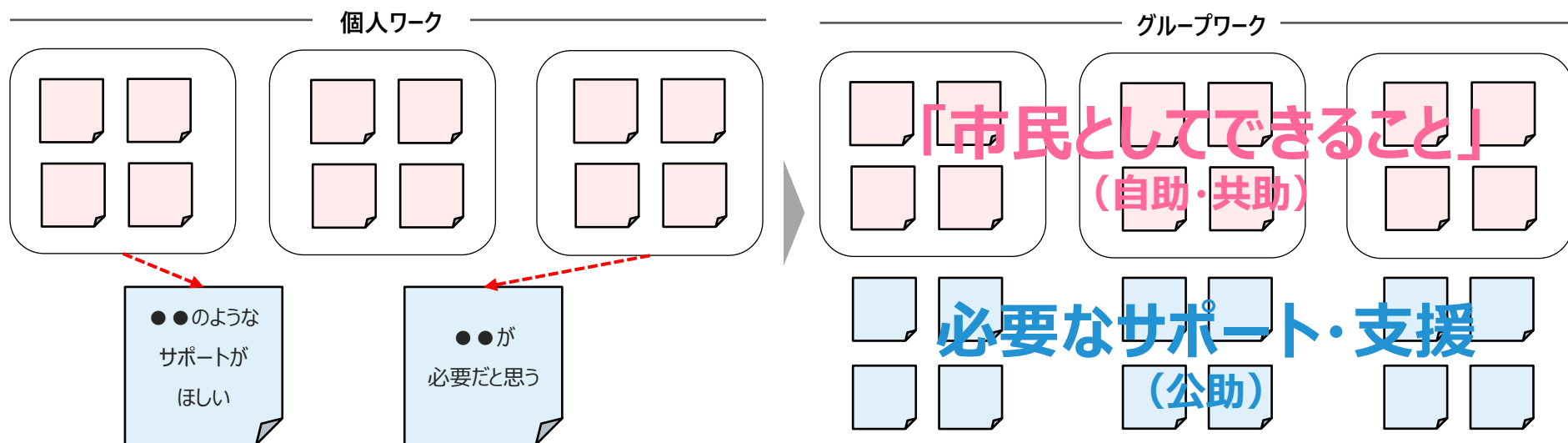




# 当日の流れ

## 2. ワーク：「市民としてできること」を推進するための必要なサポート・支援（公助）

- 各グループで整理した「市民としてできること」に対して、公助の視点から必要なサポートを検討しました。
- 個人ワークで「必要なサポート・支援」を検討し、グループで整理しました。



ワークの様子



# 当日の流れ

## 3. 発表

- ワークのまとめとして、全体発表を行いました。
- 発表では、グループで選定した「特に大きな課題」と解決に向けた「市民としてできること」、「必要なサポート・支援」を発表いただきました。

発表の様子



### 3. ワークで聴取した主な意見

テーマ	特に大きな課題
子育て・教育 (2グループ)	学習ボランティアの不足
	子ども・子育て世代と住民等との交流の少なさ
健康・福祉 (1グループ)	孤立化の対策
産業・文化 (2グループ)	若者が定着できるまちづくり
	農業のみらいの共創
生活環境・都市基盤 (2グループ)	防犯防災・次世代転入のための自助・共助の促進
	生活環境整備のための自助・共助の促進



# <子育て・教育>

## 特に大きな課題：学習ボランティアの不足

### 市民としてできること（自助・共助）

### 必要なサポート・支援（公助）

大項目	小項目（具体的な取組）	
地域の人や知識がある人に参加してもらう	若い人から高齢者まで、幅広い年齢層の市民を対象にする	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会教育施設との連携の推進</li> <li>公共図書館や学校図書館の利用促進</li> <li>NPO等の団体との連携の推進</li> <li>協力者への報酬の支払い</li> </ul>
	産休・育休中の教員に協力してもらう	
	退職された教員免許保有者に参加してもらう	
SNS等を活用して周知する	参加者への呼びかけを行うことができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報媒体（広報誌、HP等）を活用した周知の実施</li> <li>学生目線での周知の実施</li> <li>ボランティア活動やきっかけとなるイベントの開催</li> <li>保育園・幼稚園・小学校・中学校への案内の実施</li> </ul>
	学生や子どもたちに周知することができる	
	回覧板などに情報を掲載する	
	SNS等を活用し、広告を出すことができる	
ボランティアに参加する ボランティアをサポートする	ボランティアやイベントのサポートができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の様子を市民が知ることができる機会の提供</li> <li>備品の提供や貸し出し</li> <li>「市民ボランティア証」や「感謝状」の発行</li> <li>交通費等の支給</li> </ul>
	手芸教室、釣り大会、スポーツ大会などに協力できる	
勉強以外のことを教える	教育に興味のある学生に部活動の指導をお願いする	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校との連携</li> </ul>
	手芸、野球、釣り等を教えることができる	
ボーダレスかつ一体的な取組を行う	「教える立場」という型をなくす	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校や地域の単位でなく、誰もが参加できる機会の創出</li> <li>大人と子どもが交流する機会の創出</li> </ul>
	地域を越えて学校と関りを持つ	

（一部抜粋）

# <子育て・教育>

## 特に大きな課題：子ども・子育て世代と住民等との交流の少なさ

市民としてできること（自助・共助）		必要なサポート・支援（公助）
大項目	小項目（具体的な取組）	
地域での繋がりを深める	地域の人と仲良くする	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会の推進</li> <li>「挨拶」を促進する看板の設置</li> </ul>
	子ども会に参加する	
	通行人みんなに挨拶する	
学校や地域のボランティアに参加する	ボランティアに参加する	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア団体の支援や育成</li> </ul>
	登下校の見守りを行う	
イベントを企画し、参加する	学校で地域を巻き込んだイベントを開催する	<ul style="list-style-type: none"> <li>市主催のイベントの企画</li> <li>イベントへの金銭的な支援の実施</li> <li>備品の提供</li> <li>広報の実施</li> <li>イベント開催場所の提供</li> </ul>
	子どもと遊ぶことができるイベントを開催する	
	若い子育て世代に声掛けを行う	
	幼稚園や保育園のイベントに参加する	
	高校生が中心となるラジオ体操などを開催する	
体験を通じて関わる機会をつくる	農業体験を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>体験型イベントの開催</li> <li>市と学校のより一層の協力</li> <li>農業体験機会の創出</li> </ul>
	職業体験を行う	
	子どもが老人ホームを訪問する	
	部活動を通じて、中学生や小学生の交流が生まれる	
PTAに参加する	PTAに参加する	-
	男性にもPTAに参加してもらう	

（一部抜粋）

# <健康・福祉>

## 特に大きな課題：孤立化の対策

市民としてできること（自助・共助）		必要なサポート・支援（公助）
大項目	小項目（具体的な取組）	
積極的にコミュニケーションをとる	近所の人と挨拶をする	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校や施設、高齢者、障がい者等との接点を作る機会の創出</li> <li>学校との連携や広告の出稿による挨拶の習慣化の促進</li> <li>タブレット等を支給し、ビデオ通話の促進</li> </ul>
	近所の人と会話する	
	話を聞いてあげる	
出会いの場をつくる	地域のイベントを開催する	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設等の場所の提供</li> <li>イベントへの人や資金の補助</li> <li>出会いの場としての空き家等の利活用</li> <li>社会教育講座の充実</li> </ul>
	小学生と高齢者等の交流の場を増やす	
	買い物、料理、食事を一緒に行う	
出会いの場に参加する ボランティアに参加する	様々な行事、イベントに参加できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>気軽に参加できる環境づくり</li> <li>若い人が参加しやすいイベントの開催</li> <li>イベント参加休日の設置（学校、仕事を休みにして時間を確保する）</li> </ul>
	イベントで交流する	
知識を共有する	異なる年代間で、お互いの文化や流行を共有する	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民用の掲示板の設置</li> <li>福祉について学ぶ機会の創出</li> <li>昔ながらの遊びを教える機会の創出</li> <li>伝統的な家庭料理を教える機会の創出</li> </ul>
	世代を超えた「教え合いの場」をつくる	
	高齢者、若い日それぞれが得意なことを教える	
	自分が知っている情報を提供する	
人とモノをつなぐ	高齢者や障がい者が役に立つものを日頃から持ち歩く	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導する人材の育成</li> </ul>

（一部抜粋）

# < 産業・文化 >

## 特に大きな課題：若者が定着できるまちづくり（1/2）

市民としてできること（自助・共助）

必要なサポート・支援（公助）

大項目	小項目（具体的な取組）	
ボランティアに参加する	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ拾いを行う</li> <li>市の名所を案内できる</li> <li>小中学生などの子ども向けに市の紹介ができる</li> <li>少額だが寄付ができる</li> <li>在住外国人の支援ができる</li> <li>企業誘致のための署名活動を企画できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ボランティアを求めていることを周知</li> <li>• 気軽に参加できるボランティア活動の開催</li> <li>• 楽しみながらボランティアに参加できる支援</li> <li>• 在住外国人の支援のための多文化共生センターの設置</li> </ul>
イベントを企画し、実行する	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民参加型のワークショップのファシリテーターを担える</li> <li>農業体験会を開催できる</li> <li>まちづくりのためのカリキュラムを企画できる</li> <li>多世代が交流するイベントを企画できる</li> <li>異文化交流のイベントを企画できる</li> <li>特産物の販促イベントを企画できる</li> <li>資産運用などの教育イベントを企画できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 市民センターにてまちづくり講座の開催</li> <li>• 市内の名所や旧跡を巡回するバスの整備</li> <li>• 郷土芸能の紹介</li> <li>• 企業や商業施設、アミューズメントパークの誘致</li> </ul>
人材や情報を提供できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットを活用して周知できる</li> <li>市内のお店や事業者を紹介できる</li> <li>様々なテーマに関する人を紹介することができる</li> <li>市の郷土史を教えることができる</li> <li>市内の人材を紹介するホームページを作ることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 市内の観光マップの作成</li> <li>• 市の総合計画などの取組を広く周知する</li> <li>• ボランティアの人材バンクの開設・運用</li> <li>• 地域別におらが町の語り部人材の確保</li> <li>• 市民カフェ等の交流の場の提供</li> <li>• イベント等の周知</li> </ul>

（一部抜粋）

# < 産業・文化 >

## 特に大きな課題：若者が定着できるまちづくり（2/2）

市民としてできること（自助・共助）

必要なサポート・支援（公助）

大項目	小項目（具体的な取組）	
起業・経営する	新規事業を始められる	<ul style="list-style-type: none"><li>• 職業訓練の充実</li><li>• 創業コーディネーターの設置等の創業支援の強化</li><li>• アイディアを集める機会の創出</li><li>• 子どもが外遊びできる公園やキャンプ場の整備</li><li>• 新駅の設置</li></ul>
	市民を雇用できる	
	雇用を創出することができる	
自ら消費者となる	地元のお米を食べる	<ul style="list-style-type: none"><li>• 特産品朝市の定期的な開催</li><li>• 地産地消イベントの開催</li><li>• 農家から直接購入できる仕組みの構築</li></ul>
	消費者として市内で買い物をする	
	市内で消費する機会を増やす	

（一部抜粋）

# < 産業・文化 >

## 特に大きな課題：農業の 미래の共創

市民としてできること（自助・共助）

必要なサポート・支援（公助）

大項目	小項目（具体的な取組）	
魅力を伝える・知る	SNS等を活用したPRを行える	<ul style="list-style-type: none"><li>誰でも参加しやすいボランティア企画の開催</li><li>市内の農産物を購入する際の商品券等の補助</li><li>脱炭素に資する農業ワークショップの開催</li><li>市長による市内農産物のPRの実施</li><li>学校給食へ地元農産物を優先的に使用する</li><li>学校の総合学習の時間で「農業」を取り扱う</li></ul>
	農家への理解を持つ	
	田植えや稲刈りなどの農業体験に参加する	
	市内の農家からコメや野菜を買う	
	市民農園やベランダ農園に取り組む	
	構造分析（地域診断）を行うことができる	
農業の存続	耕作放棄地を有効活用する	<ul style="list-style-type: none"><li>生産者、加工者、販売者の人材バンクの整備</li><li>販売経路の確保</li><li>他の自治体との連携</li><li>後継者育成支援の充実</li><li>城山の会のような独身農家の出会いの場の創出</li></ul>
	田んぼを利活用する	
	募金を行う	
	農機具の貸し出しやシェアを広める	
	移動式の無人販売所を設置する	
	農地バンクや4Hクラブなどの情報を広める	
Next農業	6次産業化に向けたアイデアを出す	<ul style="list-style-type: none"><li>新規技術の紹介と農家とのマッチングの実施</li><li>スマート農業の推進</li><li>ふるさと納税の充実</li><li>研究機関との連携の実施</li><li>補助金の制度の構築</li></ul>
	市内農産物のPRを行う	
	市内農産物を活用した料理を提供する	
	ふるさと納税の商品を充実させる	
	環境に配慮した農業の推進	
	ブランド米を作る	

（一部抜粋）

# < 生活環境・都市基盤 >

## 特に大きな課題：防犯防災・次世代転入のための自助・共助の促進

市民としてできること（自助・共助）

必要なサポート・支援（公助）

大項目	小項目（具体的な取組）	
個人ができること	日頃から声掛けを行う	※分類ごとに公助の取組を整理しました <b>人</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>人と人が繋がる仕組みの構築</li> <li>人材バンクの整備</li> <li>地域のキーパーソンの育成</li> <li>個人でできることリストの作成</li> </ul> <b>もの</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>活動拠点の整備</li> <li>公共施設の積極的な開放</li> <li>空き家や廃校の利活用</li> <li>小学校の防災機能の強化</li> <li>複数の情報伝達手段の整備</li> <li>交通インフラの工夫</li> </ul> <b>こと</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>交流イベントの開催</li> </ul> <b>お金</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア助成金の整備</li> <li>コミュニティ助成金の交付</li> </ul> <b>つながり</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民が顔を合わせる機会の創出</li> <li>ボランティア組織形成の補助</li> <li>市民ワークショップの開催</li> <li>地域におけるワークショップの開催</li> <li>地域消防の連携</li> <li>産学官の連携</li> </ul>
	相手に対して強制しない	
	ハザードマップ等を確認する	
	子どもたちを見守る	
	参加しやすい雰囲気を作る	
	まちづくりコンサルができる	
コミュニティができること（ソフト面）	他の地域と子どもの交流イベントを行う	
	子ども会やコミュニティの親子イベントを開催する	
	班単位で防災訓練を開催する	
	防災協力マップを作成する	
コミュニティができること（ハード面）	防災マップの作成	
	子どもや親の居場所づくりや相談を受ける	
つながりを作る	PTAとのつながりを作る	
	ボランティア団体とのつながりを作る	
	地域防災組織を作る	
	学生と協力する	
人材を活用する	協力できる人を集める人材バンクを作る	

（一部抜粋）

# < 生活環境・都市基盤 >

## 特に大きな課題：生活環境整備のための自助・共助の促進

市民としてできること（自助・共助）

必要なサポート・支援（公助）

大項目	小項目（具体的な取組）	
自ら始める	ごみ拾いを行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>清掃用具などの備品の提供</li> <li>草刈り機などの使い方講習の実施</li> </ul>
	落ち葉の清掃を行う	
	自宅や近所の草刈りを行う	
地域に興味をもつ	地域のごみ拾いや清掃に参加する	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の「好きなところコンテスト」等の開催</li> </ul>
	住んでいる地域を知る、好きになる、誇りに思う	
	地域の自治会に参加する	
ボランティアに参加する 楽しく参加する	公園の管理のボランティアを行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内で活動する団体の紹介</li> <li>公園管理ボランティアの募集</li> <li>市職員の積極的なボランティア活動の参加</li> <li>竹などの再利用を促進するワークショップの開催</li> <li>清掃やごみ拾いの成果や写真の公表</li> <li>ボランティアポイントの付与及び地元企業との連携</li> </ul>
	雑木林等の整備を行う	
	清掃等のボランティア活動に参加する	
	竹などを工芸品に再利用するワークショップを開催する	
市民の意識向上	市民一人ひとりの意識改革を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標設定</li> </ul>
	マナーを向上する	
	ごみのポイ捨て等をしない	
市とのつながりを持つ	市役所などに報告する	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民と市が交流する機会の創出</li> </ul>
	市の話し合いなどに参加する	

（一部抜粋）



## 4. 参加者アンケート

# 参加者アンケート

## 調査票

ワークショップの最後に参加者アンケートを実施いたしました。

第2次つくばみらい市総合計画 後期基本計画

みんなで話そう 未来の未来

## 市民ワークショップ

テーマ 子育て・教育 健康・福祉 産業・文化 生活環境・都市基盤

市民ワークショップにご参加いただきありがとうございました。  
お帰りになる前に、簡単なアンケートにご協力をお願いいたします。

1. 今後も、このような意見交換の場があれば参加したいと思いますか？

参加したいと思う  
 参加したいと思わない  
 その他 ( )

2. 本日のテーマ以外に、“まちづくり”に「こんな協力をしたい」「こんなことが出来る」といったご意見があれば記入してください。

3. “まちづくり”についてのご意見、ワークショップのご感想などを自由に記入してください。

## 結果

1. 今後も、このような意見交換の場があれば参加したいと思いますか？

選択肢	回答数	割合
参加したい	26	86.7%
参加したいと思わない	0	0.0%
その他 (※)	4	13.3%
合計	30	100.0%

※「その他」とご回答された方のコメント

- 時間や日程が合えば参加したいと思った
- 夏休み以外なら
- 時期と時間が空いていれば参加
- 機会があれば

(原文ママ)

# 参加者アンケート

## 主なご意見・ご感想

2. 本日のテーマ以外に、“まちづくり”に「こんな協力をしたい」「こんなことが出来る」といったご意見があれば記入してください。

- 自分の職業上の知識、経験が役に立てばと思います。
- 多文化共生社会づくりに協力したい。
- 新たな産業を作ろうと思っています。
- 人材バンク(制度)を整備して、可能性を拡大。
- 社会教育施設の活用（図書館や動物園・博物館・美術館など）。
- まちづくりイベントのサポートボランティアならできます。
- 学校や地域を越えて気軽にボランティアに参加できるようにしたい。
- 脱炭素化に貢献するバイオマス・再エネ活用、グリーン成長戦略への貢献。
- 市のPR動画制作とか。
- ごみ拾いや草刈りなどのボランティアがあったら参加したり、市がつくったSNSを見たい。
- 若い人をもっと呼び込みたい。
- 高齢農家さんのお手伝い。
- 通学路の草がひどいので、草刈りであれば手伝うことができます。
- 市内イベントへの参加。
- 学区見直しのパブリックコメントへの参加。
- いろいろな提案(意見)を出すこと。
- アイデアを出すこと。
- いろいろな活動(市の活動)を進める上で署名活動(ex：企業誘致)。

# 参加者アンケート

## 主なご意見・ご感想

### 3. “まちづくり”についてのご意見、ワークショップのご感想などを自由に記入してください。

#### <まちづくりについて>

- 市民の方の特技登録サイトの活用を検討していただきたい(検討したい)。
- 基本計画づくりのタイミングだけではなく、日頃から意見を聞いていただける機会があると有難いです。
- 多文化共生センターを作って欲しい。
- 総合計画は策定段階も大切だが、どのように理解浸透させていくかが課題。市民に分かりやすく普及する手立てを工夫してほしい。
- 今回のような意見が市政に反映されることを願っています。

#### <ワークショップについて>

- 本日2回目だったのですか、大変多様な意見に接し興味深かったです。ありがとうございました。
- 特定の市民だけではなく、たくさんの参加で広く意見をもらうために回数を多くした方が良い。
- 皆さんつくばみらい市について真剣に考えていらっやだったので、こういった方々(市民)と行政との意見交換はとても有意義なものになると思います!
- 初めてワークショップに参加させていただきました。大変有意義な時間を過ごせました。ありがとうございます。若い世代に期待がもてるディスカッションでした。地元大学生対象にこういうワークショップがあると、未来につながるまちづくりのヒントをもらえるかもしれません。
- 和かなワークショップに参加できて良かったです。
- 人前で自分の意見を発表するのが苦手なので社会に出るまでの良い経験となった。
- 若い人のアイデア、想い、発想を身近に感じる事ができて、元気を頂きました。
- 意見がまとまったあと、各グループの内容を見ながら、ディスカッションや質問をする時間が欲しかった。
- 職員の方がスムーズに話を纏めたり、進めてくれた。話をふってくれるから、やりやすかった。
- つくばみらい市の未来についてよく考えられた。

(一部抜粋/原文ママ)